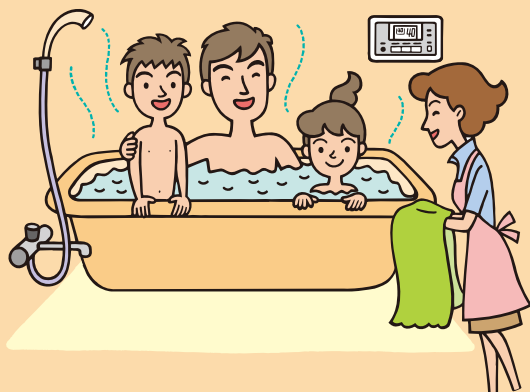


家庭用



ガス温水機器を 安全・安心に お使いいただくために

このパンフレット（ガス温水機器を安全・安心にお使いいただくために）は、第三者の有識者による「パンフレット作成検討委員会」からのご意見をいただきながら作成いたしました。

パンフレット作成検討委員会

◎委員長／有馬 真喜子 ジャーナリスト、(財)消費者教育支援センター理事長
(元国民生活センター会長)

◎委員／名古屋 俊士 早稲田大学 理工学術院 教授
早野 木の美 消費生活専門相談員、関東学院大学講師

その他消費者団体の皆様にもご意見をいただきました。

このパンフレットについてのご質問などのお問い合わせ先

■パロマ お客様相談室

☎0120-193-860 ◎受付時間／平日8:30～18:00
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

株式会社 **パロマ**

本社／〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6-23

■パロマ ホームページアドレス

<http://www.paloma.co.jp>

パロマホームページでは、製品をより安全・安心にお使いいただくための様々な情報を掲載しています。また、パロマはこれまでの経験に学び、製品安全に向けて「パロマ製品安全自主行動計画」や「パロマ製品安全の日（7月14日）」などの取り組みをしており、こういった内容についてもホームページにて紹介させていただいています。

ガス温水機器を 安全・安心に お使いいただくために



保存版

お客さまのお手元で大切に保管してください。

はじめに

キッチンやお風呂など、快適で便利な生活にかかせない湯沸器や給湯器。

正しくお使いいただければ安全ですが、誤った使い方や不注意および長年のご使用による経年劣化によって、思いがけないケガや事故がおきてしまうことがあります。この冊子は、これらの温水機器を使用するとき気をつけていただきたいことや、正しく適切な使い方についてまとめています。

いつでも安全で快適な生活に温水機器を役立てていただくため、ご一読していただければ幸いです。

目次

- ◎湯沸器をお使いになる時は、窓を開けるなど必ず換気しましょう。・・・2
- ◎小型湯沸器の出湯管にホースを継ぎ足しての使用は絶対にやめましょう。・・・3
- ◎湯沸器の周りを今一度、確認しましょう。・・・4
- ◎湯沸器のお手入れや定期的な点検をしましょう。・・・5
- ◎古くなった機器は、取替えをしましょう。・・・6
- ◎長期使用製品安全点検を受けましょう。・・・7
- ◎ガスふろがまの使用中は、ガス小型湯沸器や換気扇は使用しないでください。・・・8
- ◎屋外用給湯器周りの邪魔になるようなモノは取り除きましょう。・・・9
- ◎屋外用給湯器が換気扇の近くに設置されていないか確認しましょう。・・・10

湯沸器をお使いになる時は、 窓を開けるなど必ず換気しましょう。



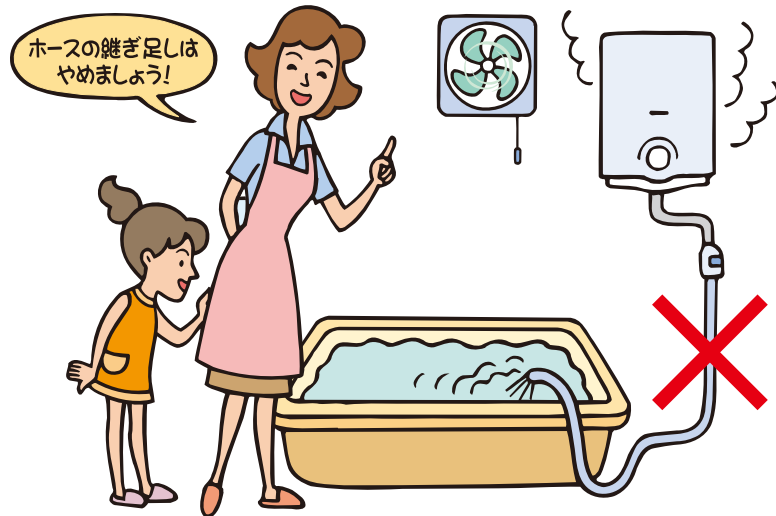
きれいな空気で、楽しいクッキングを!

湯沸器の火が正常に燃焼するためには、新鮮な空気が必要です。湯沸器をお使いになる時は、窓を開けるもしくは換気扇を回すなどして必ず換気をしましょう。(換気が不十分な状態で使用すると一酸化炭素(CO)中毒になる恐れがあります。)

なかなか火がつかない時は・・・

なかなか火がつかない、使用中にたびたび消火する、また使用中に異常な音、燃焼、臭いなどを感じた場合、不完全燃焼の恐れがあります。ただちに使用を中止し、最寄りのガス機器販売店、またはパロマ営業所にご相談ください。

小型湯沸器の出湯管にホースを継ぎ足しての使用は絶対にやめましょう。



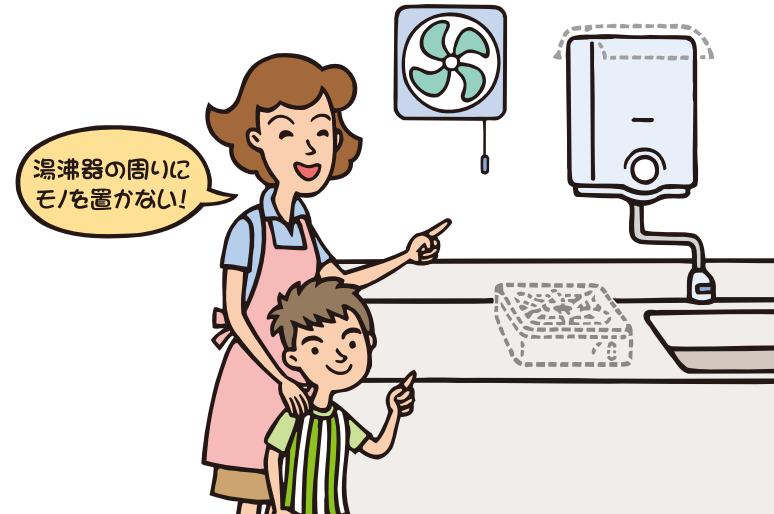
小型湯沸器でのシャワーやお湯はりは危険!

小型湯沸器を使用してお風呂への給湯やシャワー、洗髪など長時間の使用は不完全燃焼を起こしやすく大変危険ですのでお止めください。

使用中は湯沸器から離れずに!

使用中は離れたり、外出したり、就寝しないでください。また、すぐそばに燃えやすいものを置かないでください。

湯沸器の周りを今一度、確認しましょう。



湯沸器の周りに可燃物はありませんか

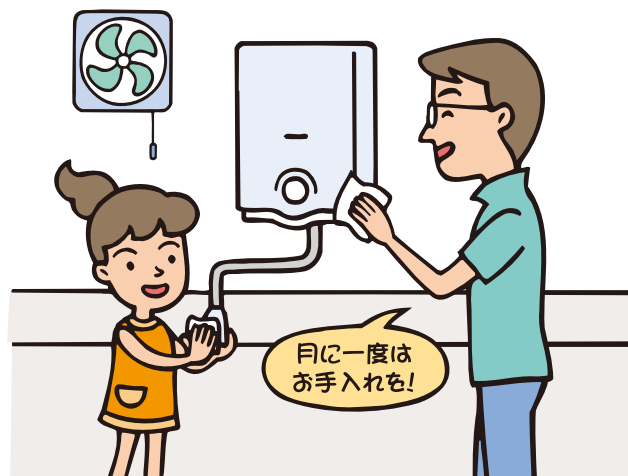
湯沸器の周辺や排気口の上にタオル、ふきんなどを載せていませんか。火災の原因になります。

湯沸器の真下にコンロを置くのは危険!

湯沸器の真下でコンロを使用しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。また、コンロの燃焼排ガスの上昇により湯沸器の安全装置(不完全燃焼防止装置)が作動し火がつかなかったり、機器の劣化を早めます。

※湯沸器に後付の強制排気装置(排気ファン)が取り付けられている場合は必ず電源をいれ、ファンが回っていることをご確認の上使用ください。

湯沸器のお手入れや 定期的な点検をしましょう。



長く、安全にご使用いただくために!

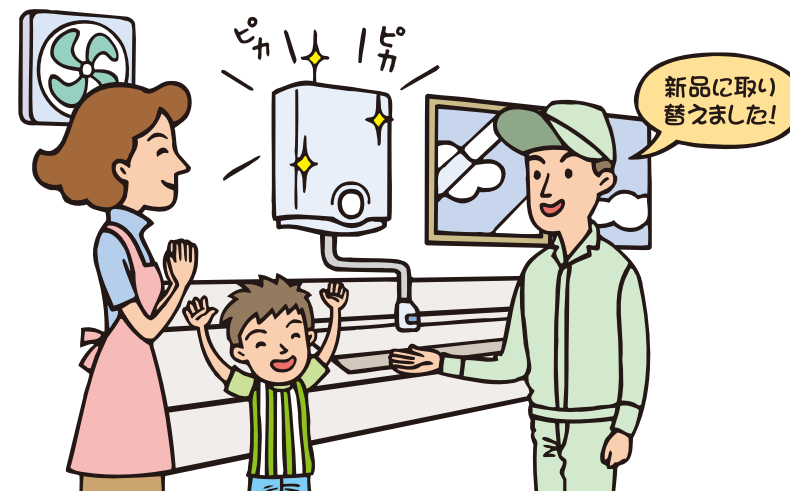
月に1回程度、機器本体の表面と本体給気部の清掃をお願い致します。また、換気扇などの換気設備につきましても、お手入れを定期的をお願い致します。

ご自分でできる点検のポイント!

- ①給気口・排気口を異物やホコリで塞いでいませんか。
- ②機器の周りに燃えやすいものはありますか。
- ③機器の運転中に異常な音はでていませんか。
- ④機器の配管からガス漏れ・水漏れはありませんか。
- ⑤機器の外観に変色などの異常はありませんか。
- ⑥乾電池は消耗していませんか。(電池交換サインが点灯していませんか)

※ガス機器は法律によって、定期的にガス事業者による法定点検を受けていただく必要があります。ガス事業者による法定点検は必ず受けてください。

古くなった機器は、 取替えをしましょう。

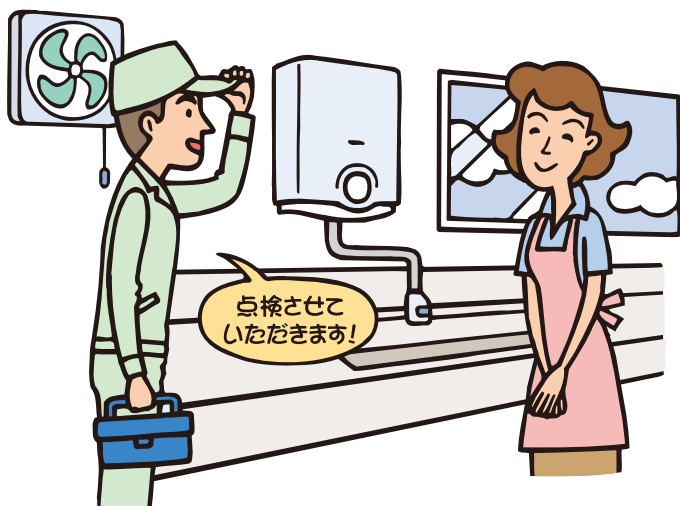


お取替えのおすすめ!

古くなった機器は、長年のご使用で、熱・湿気・ホコリなどの影響や部品の経年劣化により故障したり、安全性をそこなって一酸化炭素(CO)中毒を起こす恐れがあります。お客様の安全のために新しい機器へのお取替えをお勧めいたします。とくに、1984年(昭和59年)以前製造の製品(一部を除く)には、不完全燃焼を防止する安全装置が付いていません。

※メーカーによる部品の供給期間は小型湯沸器の場合、製造終了後7年となっています。その期間を過ぎた古い器具は、修理できないケースもございます。

長期使用製品安全点検を受けましょう。



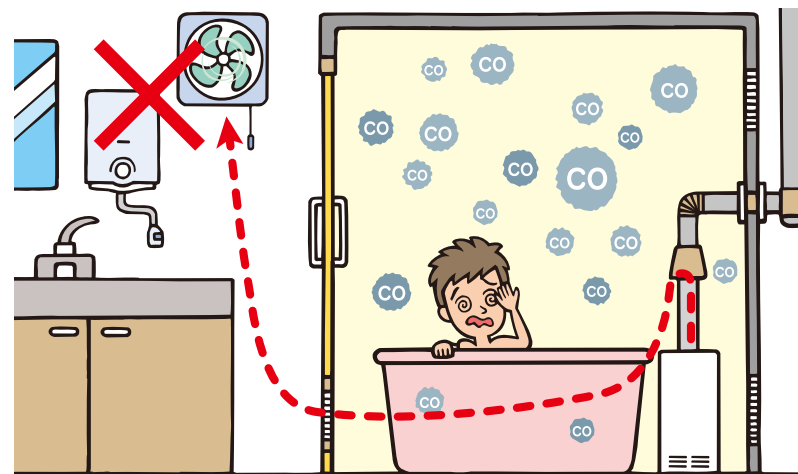
長期使用製品安全点検制度について

「長期使用製品安全点検制度」とは屋内式のガス温水機器などにおいて、経年劣化による事故を未然に防止するため、ご購入から一定期間を経過した機器については、点検を受けていただく国の新しい制度です。

所有者登録をお願いします!

ご購入から一定期間を経過した機器について、点検を受けていただくためには、事前に「所有者登録」が必要です。「所有者登録」をしていただきますと、一定期間（家庭用で約9年）経過後、メーカーより点検のご案内をさせていただきます。（点検は有料となります）

ガスふろがまの使用中は、ガス小型湯沸器や換気扇は使用しないでください。



浴室に設置されている「排気筒付ガスふろがま」の使用時はご注意ください!

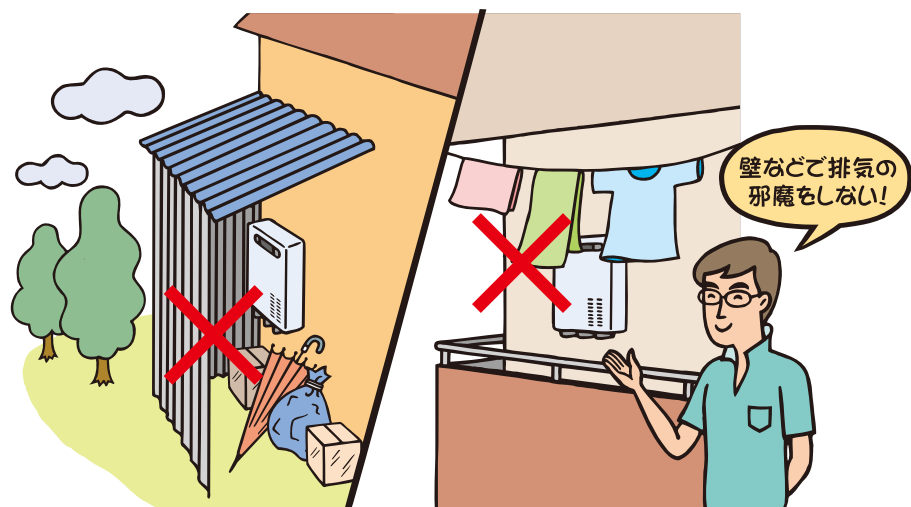
ガスふろがまの使用中は、台所のガス小型湯沸器や脱衣場の換気扇を使用しないでください。浴室に排気が逆流して、一酸化炭素(CO)中毒の原因になります。

排気筒の給気口(換気口)は定期的に点検を!

排気筒の付いた機器をご使用の場合は、定期的に排気筒の状況について下記の点を点検してください。

- ①鳥の巣やゴミなどで、排気口がふさがれていませんか。
- ②排気筒の連結部が、はずれていませんか。
- ③排気筒のコーナー(曲がった)部分が腐食により穴があいていませんか。
- ④給気口がふさがれていませんか。

屋外用給湯器周りの邪魔になるようなモノは取り除きましょう。



給湯器の周りに排気の邪魔となるような物はありませんか

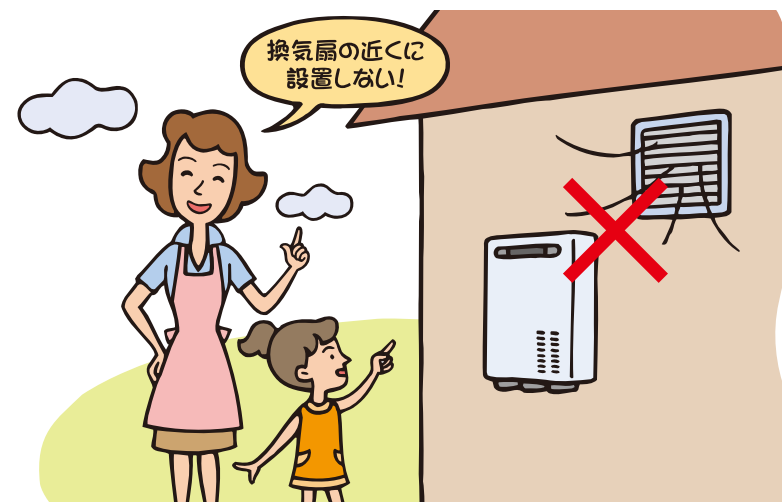
給湯器の排気の邪魔となるような壁などはありませんか。給湯器の周りを波板やビニールで囲っていませんか。不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒や火災の恐れがあります。また、給湯器の周囲に洗濯物などの可燃物を干したりするのは、火災などの危険性がありますのでなさないでください。

外装塗装工事中はご注意ください!

外装塗装工事などで、一時的に機器の養生のためビニールシートなどで覆うことがあります。覆われた状態では絶対に機器を使用しないでください。排気不良で異常燃焼になります。

※ビニールシートなどの除去については、工事業者などに必ずご確認をお願いします。

屋外用給湯器が換気扇の近くに設置されていないか確認しましょう。



給湯器の設置状況をご確認ください!

給湯器が換気扇の近くに設置されていないかご確認ください。換気扇からの排気や油などが、給湯器の燃焼に悪い影響を及ぼす恐れがあります。

給湯器に次のような症状はありませんか

下記の症状が見られる場合は、ご使用を中止のうえ、点検をご依頼ください。

- ①排気口が黒くすすけている。
- ②使用中に異常音がする。
- ③最近温かいお湯が出にくくなった。
- ④湯沸かしに以前よりも時間がかかるようになった。